

『里山のがっこう』はりきって営業中！でも、ちょっと縮小中…

生活クラブ生協大阪の 「里山のがっこう」って？



毎年春に年度生を募集して、小学3年生～中学生までの約30人の子どもたちを中心に、年間を通してだいたい月1回、里山時間を共に過ごします。

この「がっこう」の活動は、今年で26年目に入ります。1996年、卵と野菜の生産地である山梨県の白州郷牧場で始まり、毎年1回「なつのがっこう」を開催してきました。日々生命が生まれ育っていく生産過程と出会い、命の大切さについて考えていこうと産直運動から生まれたものです。10年が経過する中、白州で得た経験を元にそのような経験をもっと多くできないか、近くで出来る場所はないかと探し、現在の活動拠点の豊かな自然が残る京都府南山城村童仙房と出会いました。以後、フィールドの基盤作りを組合員家族や地元の方をはじめ多くの方々のお力をいただきながら進めてきて、2012年から年間型で行う「里山のがっこう」としてスタートしました。

その童仙房から近い、伊賀有機農産供給センターの生産者にもお力をいただき、活動の幅も広がりました。

廃校となった小学校を宿舎に、森でくたくたになるまで遊びこみ、田畑で作物を育て口にするまでの過程をたっぷり体験しています。

『子どもが育つ 子どもと育つ 子どもを育てる』を合言葉に、里山がまるごとの教室で、子どもも大人も五感をフル稼働させています。

コロナ禍での「里山のがっこう」

年度型の「里山のがっこう」としてスタートして7年。7期生の活動が終了した頃に、新型コロナウイルス感染症が世界に広がり始めました。思いがけない社会の状況に戸惑いました。

「里山のがっこう」で大切にしている、そして子どもたちの楽しみである“食う”“寝る”“あそぶ”は、すべて密なコミュニケーションの中にあります。

がっこう部会では、どのような形で進めるのが良いか？と、収まりを想定しては、その都度、模索してきました。

収まってきた！さあ、どうやって集まろう？今出来る形で計画をたて、いよいよ開催だ！…ところが、第〇波が…緊急事態宣言が…。この繰り返しが続いた第8期と第9期となりました。通常活動は中止となりましたが、秋には日帰り分散型で集まり、森あそびや伊賀の畑で顔を合わせた交流を楽しむ事ができました。

みんなの再開を望む思いや期待が、一日も早

く実現できることを願い、今はその時に備えて現地関係者の協力を得て次年度の準備を進めているところです。出来る事を出来る形で、皆でアイデアを出し合いながら、今後も進めていきます。

紙面を通じた交流の場「さとやま通信」

そんなコロナ禍による活動の中止に伴い、がっこう生とその保護者、がっこうスタッフ、受け入れ

先の皆さんとの交流の場として「さとやま通信」の発行を始めました。がっこう生をはじめ、関係者から寄せられるメッセージが「里山のがっこう」の情景を良く語ってくれています。「里山のがっこう」の活動報告として、今後、この里子屋だよりも一部掲載していく予定です。今回は、これまでの「さとやま通信」から一部抜粋して紹介します。



さとやま通信

抜粋版

みんなのお便り

▼まっちゃん (第1号より)

はじめまして。学生スタッフのまっちゃんです。継続の皆さん、今年度もバリバリ頑張っちゃいます。去年の里山のがっこうでどんなことをしたか少し紹介しようと思います。日の出と共に目を覚まし、子どもたちと一緒に魚釣りや昆虫採集、お散歩などをしました。子どもたちは目をキラキラさせ、色々な生き物を持つてきましたが、正直まっちゃんは眠くて目がシヨボシヨボ。だけど、毎回色々な発見ができて驚かされています。見たこともない生き物がいたら歩く図鑑のまっちゃんに見せてみてください。



▼はるひ (第3号より)

コロナの影響で学校のキャンプや合唱コンクールがなくなりましたことより(テストはあるのに)、里山のがっこうがなくなつたことのほうがショックで悲しいです。毎年7月には山本梅農園に行くのもお決まりだったのに今年には行けません。山本さん、お元気ですか。最近ひどい雨がが続いています。梅に被害はありませんか。それから、伊賀有機の和田さん、去年竹林に行く途中で取って頂いた小さな山椒が、ベランダで元気に育っています。

▼伊賀有機農産の和田じいじ (第10号より)

さとやま通信では、一日も早く前と同じように森や川や畑や田んぼで楽しく遊びたいというみんなの気持ちがひしひしと伝わってきます。みんなが伊賀に来られるようになったらいつでも動けるように準備しています。たとえばソバはもう粉になっているのでソバ打ちを。小麦はこれから粉にしてラーメンやパンに。こんにやくはワラ灰で刺身こんにやくを。おっと、食べてばかりじゃなく、綿を紡いで藍で染めて織ったり。麦わらや稲わらは編んでむしろやカゴに。木や竹や草など使ってホーキや食器やぞうりなど暮らしの道具や遊具づくりなど。たくさん用意して待っています。

第9期日帰り活動後にごっこ生と保護者
から頂いた感想と写真の一部を紹介します

★ちづる★ハンモックとブランコがたのしかったです。



★もえ★今日はとても楽しかったです。都会ではあじわえないような楽しさつつかれが体験できてよかったです。一番楽しかったのは、サルノコシカケの写真がとれたことです。

★はる★久しぶりにみんなと遊べてよかったです。不動のたきに行ってマツボックリをとって川におとすのもたのしかったです。たきの岩はつるつるしておちそうでした。つぎにきたときには、また山の探さくをしたいです。

★こうみ★たきに行ったりカーゴネットにのったりして、たのしかったです。つなわたりみたいなのも行っ
て、みんなであそんだ。たのしかったです。はるが、さかなと、カニをとっていて、すごかったです。川にもどす?ってきいた



ら、えさにするって言っってすごかった。

★ひかり★今日は、滝とか、川とかで遊んだりして、楽しかったので、また遊びたいです。



★ひな★とても楽しかったです。次くる時はスタッフだけでも楽しくしていけたらいいです。

★ゆふ★今日、久しぶりにみんなに会えて楽しかったです。ひまわりの種を取ることや、ハンモックで遊んだことが特に楽しかったです。また里山の学校にきたいです。



★ひろみ★久しぶりに滝に行きとてもアドベンチャー気分を味わえました。

和田さんが持ってきたドングリ? の実をうえたのがどんなふうにつくか楽しみですね。滝が楽し

かったです。2年ぶりに皆で会えて良かったです。



★ひろき★再会できて良かったです。橋をつくれてとても楽しかったです。

★はる★一日魚とりで、10センチぐらいのアブラハヤをとった。ひろきといっしょにやって楽しかった。

今日も魚とりができてよかった。橋はがんにように作れてよかった。

★しょうた★橋が作れて、輪なげが作れておもしろかった。川を探検している時に足がびちょびちょになって残念だった。こんな風に山が遊び場になっているのが面白いし、また来たい。



★あんな★友達が作れて良かった。自由にいろんなこと、自然をまんきつできて良かった。

★ひな母★コロナが出てからずっと参加できていなかったのもとても久しぶりで、楽しかったで

す。子どもたちの成長ぶりに驚きましたが、ブランクを感じないほど、みんなすぐに遊びだしていて、今までの活動の絆を実感しました。

★伊藤母★自然を活かしながら工夫をこらして、もちろん遊び方を考えるのは子どもですが、それがうまく活用できる状態にさせていただいているのは、とてもすばらしいと思えました。また参加したいです。



★りあ母★今回は初めて参加させて頂いて、とてもいい経験をさせて頂きました。日頃、自然に触れることがなくて本当に良かったです。不動の滝のサバイバルツアーはハードでしたが、良い達成感です。ありがとうございました。

